

♪ 2016年度 **poco a poco** ♪

Nr. 6 2016年6月29日(水) 文責: プファイル・辰巳

### 夏よ来い!?

小学部の大きな行事「七夕集会」と「合宿」が終わりました。中学部のみなさんは今日、明日が「期末テスト」ですね。いよいよ1学期も終盤です。

2016年を迎えてから、もう半年が過ぎてしまったのかと思うと、時の流れの速さに驚きます。

お天気の方は運動会前から雨が多く、日本の梅雨を思わせるような5・6月でした。運動会の日といい、合宿期間中といい、ピンポイントでお天気に恵まれたような形になりました。さて、今年のドイツの7、8月はどうなるのでしょうか? 夏らしい夏がいよいよやって来るのでしょうか?



### 1学期ミニコンサート

**申し込み締め切りは明日6月30日!**

小・中両学部とも、いろいろな行事やテストなどがあって忙しいこととは思いますが、ミニコンサートに出演を希望している皆さん、申し込み用紙の提出は済ませましたか? 締め切りは明日です。明日の放課後まで受け付けています。忘れずに提出してください。

音楽こぼれ話 <あの町、この町、音楽家が住んだ町 ③

#### ワーグナーの町・バイロイト>

バイロイトといえばワーグナー、そしてバイロイト音楽祭が即座に思い浮かぶ方が多いと思います。バイロイトはバイエルン州のフランケン地方に位置する地方都市です。

このバイロイトには、ワーグナーが住み始める以前から、すばらしいオペラ

ハウスがありました。このオペラハウス・バイロイト辺境伯歌劇場が、自分の作曲した楽劇を演奏するのにふさわしいオペラハウスを探していたワーグナーの目に留まりました。(このオペラハウスは現在世界遺産になっています。)

音響や舞台装置など、確固たる自分の理想を持っていたワーグナーは、結局このオペラハウスを改築することは諦めましたが、バイロイトが気に入ったらしくここに住み始めました。そして、自分の理想通りの歌劇場、現在の音楽祭で使用されているバイロイト祝祭劇場をここに建設させました。こうして、バイロイトは、毎年7月~8月になると、世界中から音楽ファン、ワーグナーファンが集まる町となりました。

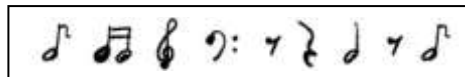
ワーグナーは晩年の10年余りをこのバイロイトの町で暮らしました。彼が住んでいた「バーンフリートの館」は現在ワーグナー博物館となっています。そして、その庭の一面には、彼と妻コジマの墓地もあります。

ワーグナーの妻コジマは、同じく有名な作曲家であるフランツ・リストの娘でした。つまりリストはワーグナーの義父に当たるわけです。そういう関係でしたから、リストもバイロイトをしばしば訪れるようになりました。義父であるリストの方が、ワーグナー自身より長生きしたのですが、実は彼も最期をバイロイトで迎えることとなります。そして、バイロイトの墓地に埋葬されました。このリストが最期を迎えた住居も1993年より、リスト博物館として公開されています。



バイロイトでは夏の音楽祭の時だけではなく、年間を通じて様々な演奏会が開かれています。また先述の世界遺産である辺境伯歌劇場やワーグナー・リストの博物館だけではなく、ビール博物館などもあるそうです。機会があれば訪れてみたい町ですね。

### ほんのちょっとだけ 演奏会情報



#### アルテオーパー 夏のミュージカル

演目	ディズニー 「美女と野獣」
期日	7月13日(水) 19:30~プレミアム 14日(木)、15日(金) 19:30~ 16日(土) 14:30と19:30 17日(日) 14:30と19:30

チケットホットライン 069 1340400